

和学

～仲間の和を大切に・学び多き学年に～

四日市市立朝明中学校第2学年

学年通信 第16号 2022/12/23 (金)

壁を越える！

2学期が終了します。体育祭、文化祭、職場体験、次々と行事がある中、「平常心」を保つことが難しかったかもしれません。本当にいろいろなことがありましたね。

行事への取り組み方は、どの行事をとってもすばらしかったと思います。クラスの中で考えて、ときには感情をぶつけあって、最後にはみんなでがんばれたというものを残してきました。やはりこの学年にはすごい底力があると、常に感動させられました。

職場体験では、アンケートの中に

- ・目を輝かせ、積極的に取り組んでいました。礼儀正しく真面目でした。
- ・休憩中にも質問し、説明を熱心に見たり、聞いたりして、職員も驚くほど上手く実践できていました。
- ・お願いしたことに元気に返事をし、協力しながらテキパキと仕事をこなしてくれました。というお言葉がたくさんありました。学校の外に出ても力を発揮できるみんなを誇らしく思いました。

では、日常に戻るとどうか…。そこには2年生の課題が見える2学期でした。

授業への向かい方。

仲間への言動。

校則への意識。

交通ルールへの意識。

社会でのルール・マナーへの意識。

甘い部分が露呈（ろてい）していたと思います。

ただ、何か気になることがあるたびに、みんなに返し、みんなで考えてきました。少しずつ少しずつ壁（＝課題）を崩そうと努力してきた2学期だともいえます。

先日、室長中心にクラスの振り返りを行いました。

それぞれのクラスに合った方法で、話し合いが進められていました。振り返りの後に、こんな感想が書かれていました。

- ・今まで何度か話し合いがあった。そこでクラスは少しずつよくなっていると思った。もっと目標に近づくために、その道のり（方法）も考えていくようにしたい。
- ・いろいろな考えや意見があり、みんなクラスのことを考えているなと思いました。今まで以上に仲間想いなクラスにしたい。
- ・今日のこの時間はとてもいい時間だったと思います。変わるチャンスだと思います。
- ・嫌になることもあるけれど、助け合ってこそクラス。みんなでがんばりたい。

本気で考えると、どんなに内容がシビアなものであったとしても、こうして前向きに捉えることができるのですね。

これこそが、いつも先生たちが言っている「自分に向き合う」ということだと思います。

他人事にすることなく、自分に足りなかったことは何か。自分にはこれから何ができるのかを本気で考えることができたとき、人は変われるのだと思います。

そして、忘れないでほしいのは、周りがどんな風であっても、正しいことに真っ直ぐに取り組んでいる人たちの存在です。そういう人たちの支えがあつての「私たち」なのだと思います。信念をもって行動し続けられる人は、自分に力を付け、大きく成長しています。目には見えずとも、その力は本物です。だから、これからもぶれずに学年を、学校を支えてください。「あなた」を目指して、みんながんばりますからね！

先日、総合的な学習では「進路学習」がスタートしました。進路に関する不安を互いに打ち明ける場面がありましたが、にもかかわらず、どの教室も和やかな雰囲気でした。なぜなのでしょう。

・今日、初めて進路学習をして、ちょっと考え直そうと思いました。迷っていることがあります
が、まだ時間があるので考えていきたいです。小池 夢己

・違う夢をもっている人が、違う悩みを抱えていて。おもしろくもあり、進路って難しいなとも
思いました。水谷 洋斗

・まだ何をしようか決まっていなくて不安だけれど、他の人の考えを聞いて、自分もがんばろう
と思った。岡田 蒼空

・中2は受験に関係がないと思っていました。中3になれば、なんとか高校に行けると思ってい
ました。でも、人生そんなに甘くなく、やっぱり授業も家での勉強も大事なんだと思いました。
當瀬 杏奈

・進路学習で改めて自分がどんなことに困っているかが、わかりました。また、人の意見に共感
し、みんなも進路のことで悩んでいることがわかりました。これから、自分の進路を考えたい
と思いました。小川 航平

・みんな考えていることは同じで、少し安心しました。今までこういうことを考える機会は多く
なかったので、自分の向き、不向きとも相談しつつ、高校より先のことを考えていきたいと思
いました。大橋 夕季南

悩みや不安を話すと、こんな気持ちになれるのですね。

「進路学習」という言葉で重く感じていたかもしれませんが、将来を語り合う楽しい時間でもあるということが、少しわかってくれたかと思います。

進路の壁に行きつく前に、まずは、2学期に越えられなかった「日常生活」の壁を越えてください。自分の甘さ、緩さこそ、最大の敵です。

もうすぐ新しい年がやってきます。伊藤暖笑さんは「今の自分ではいられない」と書いていました。冬休みを機会に目標を定めて、新しい自分になろう！！ チェンジしたみんなと会えるのを楽しみにしています。

職場体験新聞 発表会

職場体験で学んだことを新聞にまとめ、その発表がクラスで行われました。さらに、各クラス2名の代表者による学年発表会が15日（木）に開かれました。発表に付け加えられた、それぞれの職場で身に付けた技術も披露してもらいました。発表の中に、「働くことの大切さ」に加え、「支えてくれる人への感謝」に気づけたという言葉がありました。社会の仕組みを発見できたからこそその言葉だと思います。「将来は人を助ける仕事がしたい。」「人を笑顔にできる職に就きたい。」嬉しい言葉満載の発表会となりました。冬休みも、家事を「手伝う」ではなく、積極的に家事をして家族を支えてくださいね。

（新聞発表クラス代表者）

1組	左口 錬さん	橋本 瑚花さん
2組	生田 夢輝さん	杉本 凪さん
3組	藤井 咲衣さん	清水 彩加さん
4組	小原 虎太郎さん	土方 景一さん
5組	前澤 凜さん	伊藤 夏希さん

みんな 興味深く聴きました！

夏希さんは職場体験で習った
ヘアアレンジを
披露してくれました！

クラスで自衛隊
での体験を熱っぽく語る
夢輝さん

自衛隊メンバー
や敬礼、ほふく前進

は行進
を披露

こころとからだの講演会「HAPPYな生と性を考える」

思春期保健相談員 中谷奈央子先生

12月21日（水）。上記の講演会が行われました。

中谷先生はみんなに寄り添った優しい口調で、お話してくださいましたね。

「性の講演会」とみんなに伝えなかったのは、『性』という言葉だけが先走らないように。という思いからでした。最初こそとまどったようでしたが、みんなのこれからに関わることだとわかってもらえたのだと、感想に書かれた言葉から伝わりました。

先生がおっしゃられていた、「HAPPYに生きるための3つの『S』＝知る、尊重する、相談する」の一つ目、「知る」の一步を踏み出せましたね。

自分を大切に。相手を大切に。幸せな人生を歩んでください。

- ・自分の将来に関わってくることなので、大切にしていこうと思いました。今回のテーマは友だち同士でもなかなか話せない内容だったので、聞いて良かったです。自分の気持ち、相手の気持ちを尊重しながら生きていこうと思いました。 鈴木 乃愛

- ・NOと言えるかどうか、自分の心と体を大切にする一つだと感じました。相手のことを考えて、発言する。自分のことを考えて「YES」か「NO」かはっきりさせる。このことを自分の心の中に刻もうと思います。 後藤 綾斗

- ・性のトラブルが身近なことだとわかりました。1年間で出産、中絶する人が何百人もいることを知って、危機感を感じました。性のトラブルによって人生が変わってしまうというのは、恐ろしいことだと思いました。相手への気遣いが大切で、自分から断ることも大切だとわかりました。 山下 奏汰

- ・改めて、SNSだけに頼り過ぎてはいけないと思いました。私たちは思春期だし、性について知らないいけない年齢に近づいていると思います。その中で今の時代では、SNSの情報に頼りがちです。でもその情報が全てではなく、間違っていることもあふれているということを今日学びました。困ったら誰かに相談し、これからのことを乗り越えていきたいです。 野呂 みのり

- ・正常な判断ができなくなったときこそ、「知る」と「相談する」ことが大切になるのだらうなと思いました。そうして人を頼り、自分だけでは解決できないいろいろなことを友人や、親、周りの人に助けてもらうことが、自分を守ることにつながるのだらうと思います。 村上 友理